

事務事業名		気仙地方水稲病害虫防除協議会参画事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	012 地域特性を生かした農林業の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	012 農業経営の安定支援				01	06	01	02	19
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 H21 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	農林水産部農林課				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
	課長名	菅原 博幸								
	係名	農政係	電話						27-3111	
	担当者	佐々木 智紘	内線	7122						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・水稲病害虫等の防除指導の徹底と、優良農産物の安全生産と環境保全に資することを目的に、気仙管内の農業関連団体が構成員となり、水稲病害虫防除情報の発行や各種情報の提供などを行う。 ・主な事業は、①病害虫防除対策の基本方針の決定、②病害虫防除実施計画の策定、③無人ヘリコプターの防除への支援、地上防除等の実施、④農薬の安全使用の徹底、⑤防除組織の育成強化、⑥病害虫発生予察情報の収集及び伝達、⑦広域防除事業の推進、⑧病害虫防除員の業務に対する支援強化である。 ・市は、協議会に参画し、負担金を拠出している。 ・事業費は、協議会への負担金のみ。				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
					人員費	正規職員従事人数		都道府県支出金		
						延べ業務時間		地方債		
						人件費計(B)	0	その他		
						トータルコスト(A)+(B)	0	一般財源		
								事業費計(A)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
気仙地方水稲病害虫防除協議会総会へ出席と負担金の納入。		ア	協議会開催回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
気仙地方水稲病害虫防除協議会		名称	
		単位	
		カ	協議会構成団体数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
円滑に運営してもらう。		名称	
		単位	
		サ	病害虫防除事業の実施回数
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
安定して農業を営む。			

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	人員費	一般財源	千円	10	10	10	10	10
		事業費計(A)	千円	10	10	10	10	10
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	2	2	2	2	2
		人件費計(B)	千円	8	8	8	8	8
トータルコスト(A)+(B)		千円	18	18	18	18	18	
⑤ 活動指標		ア	回	2	2	2	2	2
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	団体	10	10	10	10	10
		キ						
		ク						
⑦ 成果指標		サ	回	2	2	2	2	2
		シ						
		ス						

事務事業ID	1381	事務事業名	気仙地方水稲病虫害防除協議会参画事業
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 ・気仙地域が一体となり水稲の病虫害防除に対して取り組んでいくということから、気仙管内の農業関連団体が構成員となっており、平成21年度より構成員となっている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 ・近年気仙管内において、いもち病やカメムシ被害等の水稲病虫害が発生している。それに対して水稲病虫害防除情報の配布や、防除機の無償貸し出しを行うなど、適切な対処が行われている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 ・農家から、水稲病虫害に関する情報提供が求められており、病虫害への適正な農薬使用について更なる周知が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	水稲病虫害防除協議会の活動は、農業経営の安定化につながり、その結果農業の振興が図られる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	気仙地方水稲病虫害防除協議会は、気仙各市町村及び農業委員会、大船渡市農業協同組合、岩手県農業共済組合東南部地域センター、大船渡農業改良普及センター、岩手県病虫害防除所が構成員となっており、関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	気仙管内の水稲農家に対し、病虫害の防除情報や農薬の安全使用の周知等を円滑に行うための事業であり、対象と意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	事業継続により、成果の維持が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	水稲病虫害防除情報の周知に支障をきたし、農業経営の安定化に影響がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	事業費を削減することによって、病虫害等の防除指導や、農薬の安全使用の周知が行われにくくなる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	負担金納入事務に係る担当職員の人件費及び協議会事業へ参加する職員の人件費のみであり、これ以上削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	当事業における受益者負担は発生しない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状どおり継続して事業を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続する。